

# 町医者だより

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器内科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポール改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話 047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器内科

令和02年03月号

## フルPPE

新型コロナウイルス感染症の患者数の増加が連日報道されています。医療関係者がコメンテーターとして報道番組に出てきますが、本質的なことをコメントできる人は皆無ではないかと思えます。このCOVID-19がSARSコロナウイルスと遺伝子的に80%の相同性を持つと言われていますが、いわゆる通常の風邪の原因ウイルスとしてのコロナウイルスと遺伝子的にどこか違うのか、ワクチンの製造に必要な免疫原性に関連する遺伝子情報がないのか、何でCOVID-19にかかりやすい人とかかりにくい人がいるかなど分からない事だらけです。

### PCR検査や血液検査は十分な設備、装備がないと危険

当院では、3月4日を最後にインフルエンザ検査を中止しています。不用意に検査をすることで診察室を汚染したくないからです。そしてそれ以上に大事なことは医療スタッフや通院されている患者さんの感染のリスクを限りなくゼロにしたいためです。事実その後不用意に検査を行った医師がコロナの濃厚接触者ないしコロナ感染者となってしまった事例が各地で報告されています。感染症コントロールの基本は「汚染するかもしれない」ではなく「汚染するものだ」という視点に立っています。先日、医師会から、「市が備蓄していたN95マスクを4000枚供出するが、受け取った医療機関はコロナウイルスの検体採取をしてもらおう」と言った内容のファックスが届きました。コロナの検体採取とは鼻腔や咽頭からぬぐい液を採取するという難しくもない手技ですが、医師会の方は、実際の検体採取をどのように行っているのかご存じなのでしょうか？国府台病院は国際医療研究センターの分院ですが、コロナPCR検査を依頼されて行っているようです。どのように行っているかということ、被験者と一般の患者さんとの動線を分けるため、物置を改造した部屋で検査を行っているそうです。検査する医師の格好はというと武漢で白いつなぎを着て背中をテープで目張りしN95マスクを着けゴーグルとフェイスガードを付けた医療関係者の映像を見たことがあると思います。これをフルPPEと言います。PPEはPersonal Protective Equipmentのことで日本語では個人防護具と略されています。フルPPEは術者の露出部分をなくすと言う事です。国府台病院では鼻腔や咽頭ぬぐい液採取をフルPPEで行っているそうです。以前丸坊主の開業医が坊主頭を露出させて、N95とフェイスガードとペラペラの予防着を羽織った姿で検査する様子を報道番組で披露していましたが、痛々しい限りです。また検査をやる場所も大事で、東京歯科大市川総合病院でも、駐車場に設置した小屋で検査をしているそうです。設備も装備もない開業医で本当に行える検査ですか？まずは市川市医師会の役員の方々にぜひとも4000名の検査を実践して頂きたいと思えます。ちなみに東京都ではコロナ感染症疑い患者の移送の際にも保健所の職員はPPEなしフルPPEで対応しているそうです。

### 私たちは素人で何もわからないのです

ダイヤモンド・プリンセス号に派遣され自衛隊の救護班の方はフルPPEで乗船し誰一人コロナ感染になりませんでした。一方で丸坊主の開業医のような格好で乗船した検疫官は多数感染しました。自衛隊の責任者の女性は、「我々は素人で何もわからなかったのでフルPPEで臨まざるを得なかった」とコメントしていたのが印象的でした。少なくとも私も素人です。